

テーリングダム(鉱さい集積場)の情報開示について

英国国教会年金委員会およびスウェーデン国立年金基金道德委員会からの情報開示の依頼に基づき、住友金属鉱山はテーリングダム(鉱さい集積場)管理についての詳細情報を2019年6月7日に当社ウェブサイトにて公開しました(英語のみ)。本日、日本語での情報公開も行いましたことをここにお知らせします。

情報公開依頼に対する回答の詳細は、以下のリンクから確認できます。また、ここで公開されているデータや情報は、当社がメジャーシェアを持って操業を行う資源・製錬事業の拠点で管理するテーリングダムに関するものであり、その正当性はこの文書をもって保証いたします。

http://www.smm.co.jp/csr/activity_highlights/environment/TailingDam1.html

http://www.smm.co.jp/csr/activity_highlights/environment/TailingDam2.html

持続可能な開発への探求は、420年以上続く操業や別子銅山への植林から受け継ぐ、住友金属鉱山のコアとなる事業精神です。当社事業と深い関わりのある目標もあることから、引き続きSDGsへの取り組みを深めていきたいと考えています。

2019年7月24日
住友金属鉱山株式会社
代表取締役社長 野崎明

野崎明